
霧中夢中

上下 左右

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧中夢中

【Nコード】

N9240X

【作者名】

上下 左右

【あらすじ】

詩集の連載、第二弾です。キラキラした内容は、ないと思います。

miss

僕の見る世界は酷くセピアで
だから希望を見出だす事が
とてつもなく難しい事で

鮮やかな意味を知りたくて
君の隣に立っていた
いつしかその瞳に映る景色が
波紋のように広がって
僕にも移るかもしれない
その機を逃さないように

こういう風に想うことが
つまりは魅かれているからだ
と
そう言い換えられることに
僕はまだ気付かないから

今はただ君が憎い

嫉妬に似たこの感情は激しく
だからまるで恋のようだと
何となく思っ
て震撼した

求めたのはその世界観
直視できない美しさ
哀切しか選ばぬ僕の瞳も

君だけは許したから
特別と呼ぶことにしたが
その言葉では足りなかった

こういう風に想うことが
つまりは魅かれているからだ
そう変換ができた頃に
君は姿を消したから

今はただ君が憎い

idol

たとえば君が僕を求める
その行為を引き起こす
その体を動かす指令を出す
その場所を突き止めたならば
すぐにでも破壊しよう

僕ら互いが偶像
盲目的信頼に酔い堕ちた
けれど共鳴がもう響かない

わからないの？
君は救われたんだよ

同情だなんて名付けられる前に
馬鹿な繋がりを切ろう
尚更惨めになってしまうから

すぐに投影できるようにと
理想を作っておいた
その型は君にはまってしまった
僕は君にはまってしまった
独りよがりの芝居だね

哀れな僕の偶像
妄想的運命に酔い堕ちた

一方通行だと気付かなくて

忘れたいな

救われない僕のこと

同情だなんて生温いと言って

振り切っていたくせにね

人一倍欲していたくせにね

report

歴史は繰り返すと言います。

けれども、しかし、

今までから推測するに、

この歴史の教科書に載るほどの

大きな事柄においては、

僕が当事者になる可能性が、
極めて低いと考えられます。

先生。

ですから、僕に、

それを片隅で傍観していた、

あの少年の歴史を、

教えては下さいませんか。

命は生まれ変わると言います。

けれども、しかし、

人を見て明らかなように、

前世を持参することは難しく、

現世を生きるのに必死で、

来世の見通しさえ出来ません。

証拠があまりに不十分です。

先生。

ですから、僕は、
これが唯一の人生なのだと、
そういう結論を出し、
生きていくことにしました。

思考が終着するまでを記す、
レポート用紙一枚の詩を重ね、
いつしか物語になる日まで。

H a l l o w e e n

君の瞳を覗くため

夜の隙間を潜り抜けて

ほら 辿り着きましたよ

今宵は共に手を取り踊り

夢と現を混ぜ合わせて

君の日々をフィクションに

粗悪なメイクの化け物でも

月明かりに惑わされたから

君は許してくれるんだろう

未開の闇を覗くため

夜のノックに物怖じせず

さあ 物の怪いらっしやい

今宵は君の手を取り僕は

現から夢へ駆け出して

一夜のファンタジーを今日

汚れた社会の落とし物の

キャンディー1つで君は笑う

その笑みで全て壊しちまえ

さあ 今宵は パーティーを

d r a g o n

雲の切れ目を縫い合わせる
その進み方を見た僕は
地を這う虫を連想したんだ

日を浴びないまま死んだ
あの生まれたての魂を
君の背中に乗せてくれないか
いつも通り飛べばいいよ

陽に近付いて離れて
月を一周して疲れて
また眠りを再開するとい

世紀が変わった頃に目覚め
太陽に近付いた惑星を見て
君は何かを感じてくれるかな

雷を逆流している
その速度を目で追い僕は
追い付く方法を考えたんだ

部屋から出ずに死んだ
あの未成熟な魂を
君の背中に乗せてくれないか
きつと喜ぶと思うよ

次元を繋ぐ扉を

探して壊して通って

また迷い込んでくれたらいい

大人になった頃に再び

空を横断する君を見る僕は

今と同じ気持ちになれるかな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9240x/>

霧中夢中

2011年11月4日13時08分発行